

390 中央大学第二十九回法科卒業生懇親会

〔法学新報〕第25巻4（285）号 大正4年4月1日

○中央大学第二十九回法科卒業生懇親会 中央大学第二十九回法科卒業生在京者は客年文官試験に合格したる樋貝詮三、浜口末喜の二氏及び弁護士試験に合格したる脇田安平、川合金一郎の二氏に対する祝賀を兼ね去る二月二十一日浅草公園内常盤楼に於て懇親会を開きたり来会者は前記四氏の外岩瀬脩治、井上朗三、今島義実、岩井磯次郎、原田瑞巖、大竹清七、加藤準一、管野松江、谷村唯一、田中照治、松原定吉、福田市太郎、坂本万作、広瀬和四郎等の諸氏にして主客併せて十八名に上り近來の盛会なりき尚ほ席上の發議に依り次回は本年夏季に於て開催し幹事は樋貝、浜口、脇田、川井の四氏に一任することとし散会したり（委員報）